

港南防災ネットワーク総会開催

港南防災 ネットワーク

平成24年
7月号

第15回 港南防災ネット ワーク総会

梅雨が始まるうとして6月16日土曜日の午後、品川フロンテビル、キッズ館3階にて第15回港南防災ネットワークの総会が開催されました。ネットワークの会員、協力団体合わせて43名の参加で行なわれました。議事内容は次のとおりです。

- 平成23年度活動報告
 - 平成23年度会計報告
 - 平成23年度監査報告
 - 役員改選
 - 平成24年度活動計画
 - 平成24年度予算案
 - その他質疑応答
- 議長は港南三丁目第二公民の南様に努めて頂きました

〔平成23年度活動報告〕

23年度の活動報告は事務局よりスライドショーを使用した報告となりました。紙面の関係で写真はすべて掲載できませんので抜粋とした

します。主な報告内容
6月 総会開催



第14回定期総会



臨海広域防災センター見学

7月 臨海広域防災公園見学



防災技術訓練会



2011 水辺フェスタ

8月 防災技術訓練

9月 港南中プレ防災訓練

9月 港区水辺フェスタ参加

10月 総合訓練準備

11月 港南地域総合防災訓練



港区港南総合防災訓練



港区港南総合防災訓練

12月 港南中餅つき大会参加



港南中餅つき大会



港南中餅つき大会

1月 第8回地域の防火防災功
労賞受賞



受賞の楯



防災功労賞受賞式

2月 防災講演会開催



防災講演会



参集訓練

3月 運営委員対象参集訓練

【平成23年度会計報告】

報告担当は防災ネットワークの会計を担当している須貝より行って頂きました。

23年度の会費収入による予算案は、637,904



円でしたが、実際の収入は597,975円でした。収入の差額は、会費未納分と考えられます。続いて支出の部ですが、トータル225,647円で次期繰越金が372,329円になりました。主な支出項目は次のとおりです。防災訓練費、什器備品・渉外費、通信事務費、会議費、広報費、講演会費、研修費になります。

これらの細目に関しては総会資料にて各団体には配布致しております。

【平成23年度監査報告】

会計監査担当の港南四丁目の望月より監査報告があり、会計報告のとおり間違いのない事を承認頂きました。

【平成24年度活動案】

事務局より24年度の活動案の提案を行い承認頂きました。

- 一 港南地域総合防災訓練の実施
 - 二 防災講演会の実施
 - 三 港南中学校プレ訓練の実施
 - 四 港南小学校との連携の推進
 - 五 参集訓練の実施
 - 六 各種地域のイベントへの参加
 - 七 広報活動の継続
- 右記の活動案を基にこれまでの活動はもちろん、さらなる活動拡大を進めていく内容になっています。

【平成24年度予算案】

予算案の提案は、事務局会計担当の福島さんより行われました。予算収入の内訳は、前年度繰越金・今年度会費・行政よりの補助金5万円で、今年度の予算総額は、667,113円になります。支出の多くは防災訓練・会議費・広報費。什器備品に充てられる予定です。予算案に関しても全員一致で承認を頂きました。

【質疑応答】

参加者からの意見はなく、議事進

行を進めて頂きました港南三丁目の南様よりネットワークへの大きな提案を頂きました。内容は下記のとおりです。

予算案として行政からの補助金が5万円になっているが、自治会員90名の港南三丁目第二公団でも13万円の補助金をもっている。一般の活動報告を聞くにしても、他地域の協議会に比べ独自の活動を積極的にやっている港南防災ネットワークでは補助金の増額要請をした方が良いのではないだろうか。南様の提案を受け、今年度は何らかの形で補助金の申請を行い、活動に生かしていきたいと思えます。

【編集後記】

港南防災ネットワークの総会は毎年6月におこなわれます。今回の総会については15回目を迎えました。防災協議会の発足以来、これまで継続していただいた運営委員、事務局スタッフの皆さんに感謝申し上げます。阪神淡路大震災を機に小学校地域を単位に立ちあがった協議会は、2006年に港南防災ネットワークと名称を変えながら、地域の防災活動をリードしてきました。

そんな中、2011年の3月11日に発生した、東日本大震災。

大きな影響をつけることなかった港南地域ではありますが、テレビで流れる被災地の様子は未だ記憶に新しく防災の意識を喚起していた。多くには余りに大きなインパクトでした。人命に関わらないとはいえ、品川駅の帰宅困難者の様子も衝撃的でした。港南に住まわれている方には、他人事かもしれませんが、発災時に皆さんがどこにいるかは「神のみぞ知る」ではないでしょうか。

東日本大震災を踏まえた防災とはまず自分が生き延び、そして、家族・知人を助けられ、隣近所に声をかけられること。救助が来るまで助け合えること。「自助と共助」

港南防災ネットワークは「自助と共助」を地域の皆さんに考えていただき、「自分でやる 自分でできる」をどうしていくかを提案し広めていきたいと思えます。

記事編集 発行

港南防災

ネットワーク

連絡先 会長 飯塚 則男

03 5460 0703